

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評

朝日新聞が無視したかった経過

この間、前の議会（令和2年12月23日閉会）で、都市計画税の税率を変更・維持する議案が多数でて、全ての案が否決となり、どの議案も不成立となって、その状態では、現行の税率0.24%が年度末で切れ、0.3%になる状態になりました。

その事態を回避するために、1月14日に開催した臨時議会で、町田市の都市計画税の税率を1年間0.24%に削減し、後の年度は定めないとした議案（保守の会、共産党、公明党、無所属諸派という4会派の連合＝以下、少数会派連合と記載）を、可決成立させたこととお知らせしました。後のことは当分定めないと趣旨になります。

改めて、その間の経過を示しますと、その事態を何とか回避しようと奔走する動きが、12月23日以降に起きました。



< *参考写真説明> 中央の保守の会：白川議員、右側の共産党：細野議員、右端の公明党：山下議員の3会派代表（幹事長）と、左の無所属議員諸派の提出者代表の友井議員の協同記者会見写真を使用。

前の議会で論議された税率案を具体的に表

記すると、最高税率案は、自民党+まちだ市民クラブ（民主党系）の2会派（以下、自民+民主と表記）提案したもので、今後三年間、0.27%とすると言うものでした。最低税率案（無所属諸派議員3名+吉田、深沢議員が賛成討論）は、当初の1年間、0.12%に引き下げ、後の2年間で0.24%にしようと言うものでした。その中間案（共産党）は、現行の0.24%を今後の3年間も継続しようと言うものでした。この3案の全部が否決となり、さらに、公明党より、当初の1年間で0.24%とし、後の2年間で0.27%にすると言う案が出されたのですが、それも否決とされたという結果になりました。

皆、それぞれに現状を考えたり、あるいは将来を考えたりして出した議案でした。改めて、協議して、前の案をもとに協議するのか、あるいは別の議案を想定して、新たな論議を行うのかと言う立場の違いが生じました。それぞれのグループの代表（幹事長）らが事態の収束を願ったわけですが、究極は、どの案も否決になったわけで、本則の0.3%に上がるのは止む無きことだとする、自民+民主の枢軸陣営と、なんとかより低率な税率を定めたいという陣営（少数会派連合陣営）に分かれた次第です。



議員個人の最終賛否結果（記事は裏面に続く）

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若い世代の育成に全力をささげる



ブログ HP
メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中

市長はどう考えていたかの記述 が一切無いことが新聞の方針か

【記事は、反対側を先にお読みください】

少数会派連合陣営で議会の過半数を占める見込みが立った状態でも、全体の合意で臨時議会を開催する事態にはならず、議長を経ないで、少数会派連合陣営議員全員（所属する副議長は提案者には加わらない）によって、市長に臨時議会の開催を請求する、合わせて、審議する議案を提出する手続きを粛々と行い、記者発表とされた次第です。*もとより、これらは関係する会派の代表（幹事長）によって行われました。

そうした経緯を無視したのか、少数には関心が起きないのか、朝日新聞は、その具体的な会派名を一つも記載せず、一部会派が云々と、実に偏見的な手法で記しているわけです。マスメディアが、住民の視点、市民の利益を考えるのであれば、今回の少数が協調、協力して、住民負担の増大を阻止しようと努力する議員の姿を思い浮かべることができないのでしょうか、日ごろから記者クラブに安住する朝日新聞記者の「市長すり寄り姿勢」があらさまに見えてしまった記述でした。

果たして、1月14日以降には、どのように記載しているのでしょうか。落ち着いたら、朝日新聞の記事を確認してみたいと思います。

なお、以下は参考ですが、FB でいつも記事を見せてもらっている議員の記事に、そのことを記載するものがあり、私の意見を書かせていただきました。

*その後の結果記事はありませんでした。

自民党議員の一人への意見(フェイスブックに書いた文章をそのまま掲載しました)

なぜ、多数を誇る自民党が、今回の都市計画税の成立決定で全く主導権を取れなかったか、また、臨時議会の開催についてこれなかったか、誰かは、質疑や討論で見解を述べるべきでした。

少なくとも、結果的に少数派であれ、まちだ市民クラブ（主に民主党系）は、自らの言葉で意見を言っていました。自民党議員の無言の賛否割れは、主体性が無いと思われていると思います。市長にしても、法的な議員請求で臨時議会を開くプロセスになったわけで、今回は市長がその事態を阻止できなかったというのが実態というものです。失礼ながら、あえて、友人議員として、意見を書かせていただきました。



(臨時議会の議会映像の切り取り画像)

今回の臨時議会では、市民生活にとって極めて重要な都市計画税の税率決定を、0.3%になるべきものを0.24%に据え置きとしたものですが、残念なことに他の新聞では一切の記載がありませんでした。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。